

## P200 シリーズ問答集

Q：流路内には高温の液体が高圧で流れています。型交換時の注意点は？

A：金型（ニップル）よりカップラーを外す時は、流路内の圧力が開放圧で有ることを必ず確認して下さい。

もしそのまま外しますと高温の液体で火傷をしたり流体の圧力でパッキンを飛ばし紛失します。また作業場を汚し環境を悪くします。《日本仕様のパッキンは黒色です》

Q：具体的にどの様な手順で？

A：①ストップバルブ ②ドレンバルブ ③圧力計を設置することをお勧めします。  
流路内の圧力を開放圧にしてからニップルからカップラーを外して下さい。

Q：具体的な手順を詳しく

A：①ストップバルブ（金型の入側と出側）を閉めて②ドレンバルブをゆっくり開きカップラー内部の圧力を下げて開放圧にします。それを③圧力計で確認してからニップルからカップラーを外して下さい。

Q：バルブ内蔵型カップラーの利点は？

A：PC-206V（バルブ内蔵型）は、内部のバルブが閉じますので安全です。パッキンの紛失も防げます。パッキン（P200-9AY）を購入するお客様にはバルブ内蔵型をお勧めします。

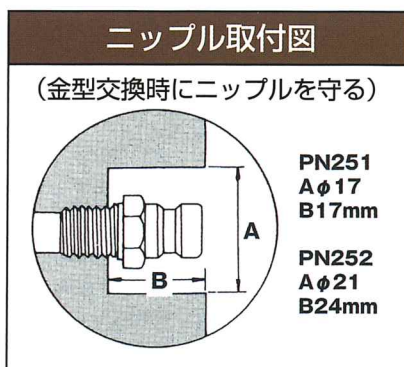
Q：ニップルはカップラー内のパッキンと当たり面で面接触しシールされていますがその注意点は？

A1：ニップルの取付は下図の取付図を参考にして下さい。

A2：カップラー内部のスプリングの反発力でパッキンはカップラー頭部と面接触でシールされています。金型交換時にニップルをタイバー等にぶつけて凸凹しているのを多く確認しています。ニップルの頭部に傷がついたら新しいニップルと交換して下さい。やすりで修正して使用しないこと。

A3：移動型は型開閉時のホースの揺れがパッキンに影響しないようにして下さい。

パッキンが変形して使用できなくなります。ホースは移動台プレートに固定して下さい。



Q：パーカーハネフィン社の P200 シリーズの日本仕様と米国仕様の違いは？

A1：当社は 1982 年より販売しています。ニップルは日本の PT ネジ規格（米国は NPT 規格）カップラーのホース取付部は日本仕様のホースが使える竹の子仕様です。

A2：国及び地域により仕様が違います。注意して下さい。